

NAGASAKI



看護連盟だより

2014
新春

Happy new year



ハウステンボス

看護連盟強化 やるなら？ 今でしょ！！

目

次

会長あいさつ……………	2	施設代表者・看護管理者研修会……………	7
名誉会長あいさつ……………	3	「平成24年度長崎県看護連盟新入会者」	
日本看護連盟会長あいさつ……………	4	フォローアップ研修会……………	7
あべ俊子衆議院議員あいさつ……………	4	平成25年度長崎県看護連盟研修会……………	8
たかがい恵美子参議院議員あいさつ…	5	平成25年度長崎県看護連盟新入会者研修会…	8
石田昌宏参議院議員あいさつ……………	5	施設紹介（みてみて my 病院）……………	9
平成25年度長崎県看護連盟会議・研修会…	6	研修案内 編集後記……………	10



ごあいさつ



長崎県看護連盟 会長 金 澤 きみ代

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

また、旧年中は、第23回参議院選挙にあたり、多大なるご尽力をいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。

看護職の代表石田昌宏参議院議員は、新人として色々なことを学びながら看護の問題に取り組もうとされています。先日、初めて国会質問の機会がありました。「特別会計に関する法律等の一部改正の法律案」について麻生太郎財務大臣に質問されました。具体的には、医療機関にかかる消費税についてでした。「医療機関では、医療費は非課税なので患者側からは消費税を取らないが、仕入れには消費税がかかるため、さまざまな矛盾が生じており、根本的に見直すべきだが、消費税率の改正を機に、例えば、ゼロ課税に改められないか」と訴えられました。また、「高齢化が進んだ今、65歳定年でも早すぎるのではないか、働き方を変えて“できることを、できる時に、できるまでやる”という仕組みにして、それに応じた財政の見直しを行うべきではないか」とも提案されました。

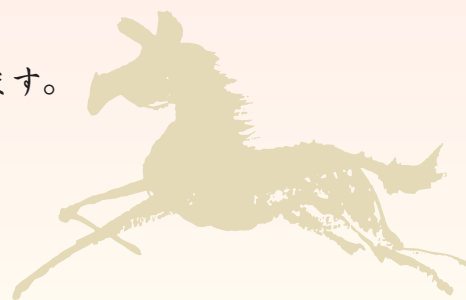
今後も看護職の組織代表として看護関係の政策実現に向けて頑張ってほしいと思います。

平成26年、新しい年がスタートいたしました。私は、今年も例年通り、温泉宿で新年のスタートを切らせていただきました。ゆっくり温泉に浸かりながら、去年の振り返りをし、今年は何をするかを考えるようにしています。

さて、気になる2014年の干支は、「午（うま）」。

干支の話題が出るのは、年賀状を書く年末の数日間と年始の挨拶の時でしょうか？「午（うま）」は「物事が“うま”くいく」「幸運が駆け込んでくる」などのように、縁起のいい動物といわれています。長崎県看護連盟活動が会員皆様のご理解を得て、**うまく進み、幸運が駆け込んでくる**ことを期待して新年の挨拶といたします。

会員の皆様には連盟活動に更なるお力添えをお願いします。
本年もよろしくお願いします。





ごあいさつ

長崎県看護協会 長崎県看護連盟 名誉会長 山口 ミユキ

謹んで初春のおよろこびを申し上げます

それぞれの立場で新年をお迎えになられたことをお喜び申し上げます。

去年は、参院選に向けて魂を打ち込んだ「夏の陣」、看護界からの組織代表者「石田まさひろ」氏の政策研究会に入会の輪を広げ戦った参院選、同志の労苦と絆によって、目的達成の喜びを共有したいと存じます。ご協力ありがとうございました。

●喜びを共有する中で、この度の戦いが悔いを残さない活動であったか、過去を振り返るとき、度毎に後退する本県の実績、これでよいのか、「後輩の皆さん」政治力の必要性が理解されていないからだと受け止めた次第であります。では、自分は何を学び何を為すべきか、それぞれの役割をしっかりと把握し、理解することができた、それを土台として活動、その後の評価。

前進：職場環境が変わる

●常に自己研鑽を怠らず「前進」することによって「職場環境」が変わった変えることができた。これはすべてが組織代表の国会議員を中心とした国会活動での成果であります。

前進：専門看護師活用で病院が変わる

●激動する日本社会の中で、すべての人々に良質の看護が提供できる為に、1994年5月「専門看護師」(CNS) 制度が発足して20年目認定者1,000人を超えたいま、認定資格者のこれまでの活動、その成果をふりかえり認定者の役割、意義、やりがいをも明らかにすると共に看護管理者がその可能性をしっかりと把握することで、病院の質向上に生かすための方策を考え、新たな“看護”を切り開く CNS の可能性を探り続けられるいま、この実態をこれからに向けて活用ができる為に法制に向けて活動するときに至っていることが強く胸中に響きます。

長大病院の「専門看護師」の実践活動

●特に胸中に響いたことは、長大病院看護部(日本看護協会機関誌11月号、臨時増刊号)がリエゾン精神看護 CNS として院内外の看護の質向上に取り組まれているページを丁寧に拝読したとき、努力の積み重ねを高く評価すると共に嬉しく高鳴る胸を、早期に国会に反映させることこそ、公益社団法人日本看護協会の政策実現に向けた日本看護連盟の大活動だと、強く思った次第であります。

◎平成26年が、それぞれの努力によって、働きやすい職場環境の中で、先ず自身の健康を維持して、すべての人々に「安全・安心」な看取りで明るく、輝く長崎県、強い日本国に寄与貢献できますように、心からご祈念して新年のごあいさつと致します。

キャロライン・ケネディ駐日米大使12月10日、被爆地長崎訪問

「水仙の花咲く日」

(平成25年12月11日 記)

新年のごあいさつ



日本看護連盟 会長

草間 朋子



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、石田昌宏参議院議員の選挙に際しましては大変お世話になりました。看護職では初めての男性議員として、フレッシュな感覚で頑張ってお活動しております。阿部俊子衆議院議員、高階恵美子参議院議員も、先輩議員として、それぞれ、要職のポジションを得ることができ、看護政策に関することはもとより、幅広い領域の活動を展開し、「看護の代表ここにあり」と精彩を放った活躍をしております。3人の国会議員の先生方の活動が、日本看護連盟の存在を、国会の内外にしっかりアピールすることにつながってまいりますので会員みなさまの温かいご支援と、見守りをお願いしたいと思います。

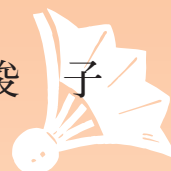
「看護職の役割拡大」「看護職の働く環境の改善・整備」「潜在看護師の復職支援」など、看護界が抱えている様々な問題を一つひとつ解決し、政策的に実現していくことが、連盟の重要な役割だと認識しております。さらに、看護の代表を国政の場に送り出すことも、看護連盟としての一大イベントであり、この活動を通して連盟会員のみなさまの団結を一段と強固にするものであると信じており、年頭にあたり、次の選挙に向けてすでに準備段階に入ったと認識しております。看護に関する問題は、看護職が自らの力で自律的に解決していかなければなりません。このためには、連盟の活動を「見える化」し、会員みなさまと一丸となって、連盟を、社会を動かすことができる「力強い組織」として発展・進化していくことを目指して、全力投球してまいりたいと思っております。

ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



衆議院議員

あべ 俊子



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

長崎県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は全国の看護連盟の皆様のお力添えのおかげさまで、国政で頑張る同志が増えた大変意義深く喜ばしい年となりました。また私自身も、9ヶ月間にわたり外務大臣政務官を拝命し、内閣の一員としてその任を務めさせて頂けたとても学びの多い年でした。現在は、おもに議院運営委員会（議事進行係）、厚生労働委員会（理事）、国会対策委員会（副委員長）などの役割を担わせていただいております。与党として次世代への責任を常に念頭に日々務めています。

新しい年を迎え、我が国の抱える課題である2025年問題へもまた一歩近づきました。これからの超高齢社会を支えるためにも、私が政治の道を志した原点である「安心できる社会保障制度の確立」への思いを胸に、看護界が抱える諸課題の解決に向けて、日々前向きに取り組んでまいります。看護職の皆さんお一人お一人が働きやすく、やりがいをもって看護できることを心から願い、その実現に向けて引き続き頑張っております。長崎県看護連盟の皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



参議院議員

たかがい 恵美子



長崎県看護連盟の皆様へ、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

第二次安倍政権の誕生から12ヶ月間、政策の重点は財政再建と経済活性化、そして新たな成長戦略の発信へ注がれて参りました。いわば我が国が将来、真に健やかな成熟社会へ飛躍していくための基盤整備が行われたわけです。これからは、国民のいのちと暮らしの安全・安心を安定的に保証するための社会保障制度体系全般にかかる諸々の大改革を進める段階に入ります。

社会保障を実現する最大規模のプロ集団として、いよいよ看護職が現場の声を政策へ届ける時がやって参ります。私こと、高階恵美子も看護職の一人として、これまで着々と進めてきた地道な努力の積み重ねを、今度は国会の場で政策としてひとつでも多く目に見える形で実現させていくべく、微力を投じて参ります。

皆様にとりまして、幸多く伸びやかな繁栄の年となりますことを心より祈念いたします。



参議院議員

石 田 昌 宏



長崎県看護連盟の皆様、新年明けましておめでとうございます。今年が皆様にとり、すばらしき一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年7月に行われました参議院選挙におきましては、皆様からの熱い思いに支えられ、初当選を果たすことができました。重い役割を自覚し、頑張って参ります。

今年は、通常国会において引き続き社会保障制度改革の議論が進められ、医療・介護、少子高齢化対策をはじめ、これからの看護の現場と日本にとって重要な国会審議が行われます。私は昨年10月に財政金融委員会委員を拝命し、財政面からも日本の課題に取り組むことになりましたが、持続可能な社会保障を行うためには、課題が山積しています。

私たち看護職がそれぞれの力を発揮“いい看護をした”と実感できるよう、日々現場で懸命に看護に取り組んでおられる皆様の声を、国政に反映してゆきたいと思います。

この大きな転換期の新たな一步に、皆様とともに手を携え、力を尽くして参りますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年度長崎県看護連盟会議・研修会

日時：平成25年12月3日(火) 10:30～16:30

会場：ながさき看護センター

日本看護連盟主催「平成25年度都道府県別会議」

報告及び協議事項

・第23回参議院選挙総括

- ★ 本部から：今回は25万票獲得を目標としていましたが、201,109票に終わり54万人の名簿の票への反映は37.4%であった。看護協会の支援表明で協会と連盟が一体となり、取り組んだが、全国にそれを浸透させるには時間が足りなかった。今後、会員の意識調査や都道府県別会議の結果を考察し、検証を進めてゆきたい。
- ★ 都道府県及び支部から：施設による温度差があり、特に公的病院に対しての働きかけの不足を感じた。20代の会員の投票率の低下が大きく、投票行動に結びつけることが課題である。会員に意識を浸透させるにはリーダーの育成が大切で、研修の方法・内容の検討が必要である。

都道府県別リーダーセミナー

講演：看護政策の実現に向けて

講師：阿津 公子 日本看護連盟幹事長

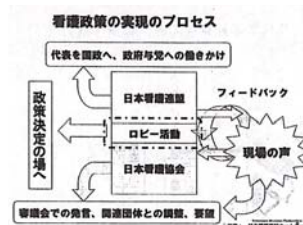
目的

- ・看護連盟会員として現実～近未来の医療問題や看護政策に関心を持つ
- ・看護連盟の組織目的を再確認
- ・制度改革や法律が出来る過程を理解する
- ・現場の声を政策につなげるために行動できる

対象

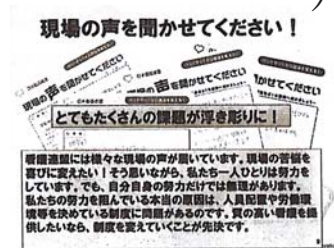
支部役員・施設連絡委員・病棟連絡委員

（看護の発展と国民の健康・福祉の向上のために寄与する看護連盟の活動を会員にもっとも近い立場でけん引する人たち）



リーダー

リーダーには仲間がいる！
仲間に伝えることが大切！！



講演内容

- ・人口動態の話から高齢社会、少子化、50年後の日本のデータから看護人材の確保はどうなる？
- ・看護政策の実現のプロセス など

グループワーク

テーマ：「現場の意見を政策にどうつなげるか」

- ★ 連盟の価値を知り、リーダーは学ぶ必要がある。そして伝達していく。独りではなく、新人教育の中で、プリセプターや今までの政治の恩恵を体験している諸先輩たちを巻き込み、日ごろの愚痴から政治の必要性を学ばせる。
- ★ アンフィニのアンケートを活用し現場の意見をもっと、政策へつなげましょう。
- ★ 愚痴を言ったり、退職しても看護師を辞める人は少ないのではないか？

と言うことは、看護に誇りを持っている。ならば働きやすい現場＝政策＝看護の仲間政治家の必要性



施設代表者・看護管理者研修会

日 時 平成25年 9 月25日(水)14:00～16:30
 場 所 ながさき看護センター 4階大会議室
 参加者数: 67名

プログラム

- 14:00 開会
 あいさつ
 14:05 第23回参議院選挙結果の報告および連盟活動についての課題
 14:30 第23回参議院選挙総括
 15:00 グループワーク
 テーマ: 公務員・非公務員・各施設内の看護職が自律した連盟活動ができるためには
 16:00 発表
 16:20 閉会

グループワークの内容**★連盟・協会に対して**

- ・協会で「看護と政治」といった題目で研修を開催し、新人・中堅などキャリアに応じた内容で学ぶ機会を作る。
- ・ポリナビ研修に行ってもフィードバックできていたか。出席はしても全体への浸透が積極的に行えていなかった。
- ・連盟活動の啓蒙ができていない。これまでの代表者の功績、これまでの歴史、研修会で伝えているが施設へ持ち帰られていない。

- ・協会活動でもっと地域に根ざした活動や教育に力を入れていく必要がある。

★施設（公的病院：民間病院）に対して

- ・リーダーシップがとれる人を研修に出すことで影響力が大きくなるのでは。
- ・管理者までは、きちんと理解し下の人へ教えていかなければならない。
- ・公的病院がどこまでやっていいのか？制限があるのか？やり方を間違えると公務員法に触れてしまう。上から言うと命令形になってしまう。

平成24年度長崎県看護連盟新入会者フォローアップ研修会

日 時: 平成25年11月14日(木)14:00～16:00
 場 所: 長崎県看護協会 長崎会館

参加者数: 109名

プログラム

- 14:00 開 会
 挨拶
 14:15 基調講演
 14:55 活動報告
 15:10 グループワーク
 ①テーマ「こんなことあったらいいな・あんなことあったらいいな」ということを考える
 15:45 グループワーク
 ②テーマ「いいなと思ったことを叶えるためにはどうするのか」自分たちにできることを考える
 16:05 発 表
 16:20 まとめ
 16:30 閉 会
 挨拶
- 長崎県看護連盟 会長 金澤 きみ代
 長崎県看護協会 会長 副島 都志子
 ポリナビ特別委員長 小川 正臣
 長崎県看護連盟 名誉会長 山口 ミユキ
 長崎県看護連盟 副会長 久米 春代

**グループワークの内容****①テーマに対しての意見**

- ・給料を上げてほしい！有給を使いたい。
- ・定時で帰りたい！サービス残業を無くす。などの意見が多く聞かれた。

②テーマに対しての意見

- ・選挙に行く・ポリナビ活動・組合活動に参加する。などの積極的な意見がありました。



平成25年度長崎県看護連盟研修会

日 時 平成25年12月7日(土)13:00~14:00

場 所 長崎県看護協会 長崎会館

参加者数: 107名

**『国会の動向』 文部科学副大臣の職務を終えて**

講師 前文部科学副大臣 衆議院議員 谷 川 弥 一



講演の前日の夜半まで「特定秘密保護法案」の審議をされ研修当日に帰省された先生に講演を拝聴することができた。その中で本法案の必要性を分かりやすく説明していただいた。又、副大臣任期中の職務としていじめ対策について、学校と家庭の連携に力を入れたこと、文化の信仰や大学教育についての取り組みなどの仕事内容について話があった。

平成25年度長崎県看護連盟新入会者研修会**第1回研修会**

平成25年12月12日(木)14:00~16:30

場 所: ながさき看護センター 4階大会議室

参加者数: 113名

13:55 オリエンテーション

14:00 開 会

長崎県看護連盟会長あいさつ

長崎県看護連盟会長 金澤 きみ代

長崎県看護協会会長(代理)あいさつ

長崎県看護協会副会長 小川 由美子

14:10 研 修

(1) 看護連盟と看護協会の違い 長崎県看護連盟会長 金澤 きみ代

14:40 (2) 働きやすい職場環境をつくるために何が必要か

長崎県看護連盟名誉会長 山口 ミユキ

15:10 (3) ポリナビについて

ポリナビ特別委員会副委員長 市田 雅俊

15:25 (4) グループワーク

テーマ:『私にできること』

16:00 発 表

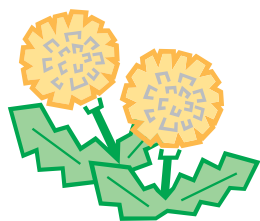
まとめ

16:30 閉 会

グループワークの内容

- ・周りの人を連盟に誘い、後輩にも伝えていく。
- ・ポリナビに入る、選挙に行く。
- ・広報誌やニュースから情報を得て、政治に関心を持つ。
- ・挨拶・笑顔・健康づくり…と初々しい意見もありました。





みてみてmy病院

第7回

地方独立行政法人 北松中央病院 訪問看護ステーションたんぽぽ

「訪問看護ステーションたんぽぽ」は平成12年4月北松中央病院の訪問看護として立ち上げ、翌年訪問看護ステーションになりました。

佐世保市の北部に位置し、佐世保市北部（小佐々町・世知原町・江迎町・鹿町町・吉井町）を中心に田平町から佐々町まで広範囲にサービスを提供しています。

佐世保市北部で唯一の訪問看護ステーションということもあり広域の方々から依頼をいただき難病・ターミナル・人工呼吸器使用など医療依存度の高い方々の支援も行っています。

利用者様の中では老々介護40%・日中独居28%と多く、昨今の災害が多い中多数の利用者の安否をどう把握するか試行錯誤しながら、災害に向けた訓練を実施していこうと計画・準備中です。

現在スタッフは看護師5名、ケアマネ2名で介護・医療・福祉との連携を密にとり利用者様とご家族が在宅で安心して過ごしていただけるよう24時間体制で支援しております。

訪問看護たんぽぽ スタッフ一同



広報から一言

これだけの広範囲の地区を5名の看護師で24時間体制で活動されていることに感動しました。連盟は協会の要望を受けて訪問看護ステーションへの予算増額の運動をしていますので、共に頑張っていきましょう。



・交通アクセス・

西肥バス……………北松中央病院前下車
MR 松浦鉄道 ……高岩駅下車約300m
車 ……………国道204号線 江迎町赤坂
西九州自動車道路佐々インターより
県道227号線を約8km



たくさんの応募
お待ちしております。

my 病院・施設を紹介してみませんか？

「これが自慢！うちならでは！頑張ってます!!」なんでも OK ですよ。

応募方法はこちら → hyk.renmei-nagasaki@shore.ocn.ne.jp または Fax (0957) 49-8066



対馬研修



万松院

去る9月29日～30日にかけて日本会議長崎女性の会・長崎県看護連盟の有志13名で、対馬の研修旅行に出かけました。

そこで対馬の歴史を学び景観を楽しむと同時に、国境の島として難しい現状にあることも知ることができ、有意義な研修となりました。

皆様も機会があれば是非出かけてみませんか。



「看護と政治」

講師 日本看護連盟会長 草間 朋子氏

日時 平成26年2月8日(土) 14:00～16:30

場所 ながさき看護センター 4階大会議室

多数の参加をお待ちしています。



編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は第23回参議院選挙があり大いに盛り上がった年となりました。特にポリナビを中心とした若手の活躍があり、今年もより一層の組織強化に協力していただけたと思います。

又、広報担当としても時局に応じた情報を会員の皆様に発信していきたいと考えていますので、今年もよろしくお願いいたします。